

# 本堂移動

2116年現在

**薬師堂** (1655~1701) (46年間使用) 1855 飛び地に移動

薬師堂 本堂(1655)明王堂→光明堂(1700 山上)→薬師堂(1855 飛び地)

明暦元(1655年)の建立で、成田山に現在残っている建物の中ではいちばん歴史の古い物です。薬師堂は、江戸時代初期の1655(明暦元)年に建立された旧本堂です。1701(元禄14)年に新本堂(現光明堂)建立の際、山上へ曳屋して移築。1858(安政5)年、更に新本堂(現釈迦堂)建立の際に現在の場所(総門前から表参道の坂を上がった三叉路の所)に再度移築されて、薬師堂と呼ばれるようになりました。堂内には、薬師如来を中心に、日光菩薩、月光菩薩、十二神将が祀られています。薬師三尊・十二神将は既に修復が完了して現在、平和大塔一階に特別奉安中です。前回修復から59年を経て多くの構造材の木部破損や弛みが著しく、腐朽が生じていた為2012年3月8日より修復工事を開始し2014年5月に修復工事が終わりました。

**光明堂**重要文化財(1701~1858)(157年間使用) 1856 山上移動 1963 後方移動

光明堂 本堂(1701)明王堂→光明堂(1856 山上)→光明堂(1963 後方移動)

元禄14年(1701年)に建立された旧本堂で、寛保2年(1742)と明59(1768)の改修を経て、安政年間安政3年(1856年)新本堂(現釈迦堂)の建立にあたり、本堂の後方(山上)に移築、さらに昭和39年(1964年)大本堂建立のとき現在地(少し後方)へ移されました。

安政3年(1856年)に「明王堂」から「光明堂」と改め、昭和39年(1964年)に現在の位置に移転されました

右手奥に直径6センチ余りの女性の髪の毛で編んだ毛綱数100メートルが2メートル余りの高さに巻かれていた。火災の折、奇跡的に保護され、現在は霊光館に保存されている。

安政年間の本堂(現光明堂)を山頂に引き上げる際に使われたという。

**釈迦堂** 重要文化財(1858~1968)(110年間使用) 1964 移動

釈迦堂 本堂(1858)→釈迦堂(1964)(大本堂左に曳き屋)

1858年(安政5年)に建立された前本堂であり、大本堂の建立にあたって1964年(昭和39年)現在地に移築されました。

**大本堂** (1968~現在)(2014年現在48年間使用中)

昭和43年(1968年)に建立されました

木造不動明王及び二童子像・大本堂に安置する当寺の秘仏本尊。

中尊の不動明王像は、坐像で像高約133cm。両脇に二童子をしたがえる。鎌倉時代の作

## 本堂の変遷

明暦 元年の本堂(1655)→光明堂(1700 山上)→薬師堂(1855 飛び地)

元禄14年(1701) 明王堂→光明堂(1856 山上)→光明堂(1963 更に後方に移動)

安政 5年(1858) 本堂(1858)→釈迦堂(1964)(大本堂左に曳き屋)(西に100M移動)

昭和43年(1968)の本堂 大本堂(1968)

昭和38年(1963年)現在の大本堂建立にあたり山上の下記諸堂を少し後方に移動した。

額堂 昭和38年 9月移築完了(1963)

光明堂 昭和38年 11月移築完了(1963)

開山堂 昭和39年 1月移築完了(1964)

清流権現堂 妙見宮 昭和39年 1月移築完了(1963)

**仁王門** 重要文化財 文政13年(1830年再建) (歴史書によると1831年である)

1978年(35年前)に修復最も古いものとして永禄の頃(1560年頃)という記録が残っています。安政6年(1859年)に二代目広重が描いた「下総成田山境内図」にも、「魚河岸」と書かれ大提灯が描かれています

**鐘楼** 元禄14年(1701年)に建立

梵鐘は昭和43年(1968年)竣工の大本堂建立にあわせて鑄造は人間国宝「香取正彦」氏

**三重塔** 正徳2年(1712年)に建立

宝暦7年(1757)享和元年(1801)安政5年(1858)釈迦堂に大修理が行なわれています。

又昭和58年(1983)平和の大塔 現在の姿に復元されました。(2年かけて大修理)

(平和の大塔建立時) 昭和56年(1981)~58年(1983)にわたり漆塗・彩色工事を主体とした。

保存修理工事を行いました。この工事は享和3年(1803)の古文書に書き留められていた漆塗、彩色の仕様をもとに復元されました。

平成20年(2008)の大開帳にあわせて、漆塗りの彩色の修復(5回修理)

**一切経堂** 享保7年(1722年)に建立され 1809年に再建 6回修復 20~30年に1回修復

(22)1831(天保2)年 (31)1962(昭和37)年 (34)1966(昭和41)年

(20)1986(昭和61)年(12)1998(平成10)年 (11) 2009(平成21)年と

多くの修復を繰り返してきました。

**額堂** 文久元年(1861年)に当山で2番目の額堂として建立

七代目市川団十郎丈により寄進された額堂(第1額堂)が三重塔脇にありましたが、

昭和40年(1965年)不審火により焼失(放火) 大本堂建設中に火災

成田山の歴史書を見ると「過去の本堂は7度までも回禄(火災)の災に遇った」との記述がある。

このことから現存している四つの本堂と薬師堂以前の7回の火災にあった本堂これらを合計すると11本堂である。また火災にあっていない本堂を含めると現在の大本堂は15から20代目ぐらいであろうか? 私の推測です。

**13代貫首宥澄**(ゆうちょう)が本堂(薬師堂)を再建し以後徐々に寺勢が上がり

元禄14年(1701)に本格的な新本堂(現光明堂)が再建され、時の貫首に

成田山中興第一世貫首照範上人が元禄13年(1700年)に就任している。

四代目貫首 宥鏝(ゆうばん) 中興の祖

• 開山 寛朝大僧正 貫首(成田山ではかんすと呼ぶ)

• 貫首 照源 現在は中興二十一世貫首橋本照稔(しょうじん)

• 中興 照範 快盛 照朝 照諦 照峯 照乗 照誉 照胤 照融 照阿 照嶽 照順

13 原口照輪 14 三池照鳳 15 石川照勤 16 服部照和 17 池田照誓

18 荒木照定(しょうてい) 19 松田照應(しょうおう)

20 鶴見照碩(しょうせき) 21 橋本照稔(しょうじん)

中興第十二世輪順貫首以前は苗字が無い

**名字** 明治8年(1875年)2月13日の平民苗字必称義務令により、国民はみな公的に名字を持つことになった。